

正誤表

『医用放射化学』（2009年3月18日発行）に誤りがありました．ここにお詫びして訂正いたします．

頁	該当箇所	誤	正
66	5行目	(46億年前)	(約46億年前)
67	5行目	地球の元素創生時	地球誕生時
67	7行目	(46億年前)	(約46億年前)
70	9行目	核種B～Zの間	核種B～Yの間
73	飽和係数の図・表中文字	時間	照射時間
78	9行目	酸化数7価	酸化数+7価
79	ヨウ素標識法の化学式 4箇所	$\begin{array}{c} \vdots \\ \text{NH} \\ \\ \text{CO} \\ \\ \text{H}-\text{C}- \\ \\ \text{NH} \\ \\ \text{CO} \\ \vdots \end{array}$	$\begin{array}{c} \vdots \\ \text{NH} \\ \\ \text{CO} \\ \\ \text{H}-\text{C}- \\ \\ \text{NH} \\ \\ \text{CO} \\ \vdots \end{array}$
80	5行目	^{14}C が壊変に	^{14}C が壊変に
84	3行目	繰り返しその分離が可能	繰り返し娘核種分離が可能
85	最下段の図	$^{99}\text{Mo} - ^{99m}\text{Tc}$ ジェネレータの場合 放射平衡時の放射能比 $\frac{A_2}{A_1} = \frac{T_1}{T_1 - T_2}$ を	$^{99}\text{Mo} - ^{99m}\text{Tc}$ ジェネレータの放射平衡時の放射能比 に訂正
85	最下段の図中文字	^{99}Mo の放射能	^{99}Mo の放射能
89	4行目	このとき Ba^{2+} は不要なものを	このとき Ba^{2+} は $^{140}\text{Ba}^{2+}$ を
89	最下段の図中文字	...保持担体(目的物質が ^{140}La の場合)	...保持担体
92	タイトル下囲み2行目	イオン交換法・バッチ法など	イオン交換法など
92	5行目	分布する(右頁参照)	分布する(95頁参照)
97	中央図		
		図 Rf図の取り方	図 Rf値の取り方
99	内部電解法の図	誤 白金(Pt)板 $^{64}\text{Cu}^{2+}$ は電子をもらい、金属 ^{64}Cu になりPt表面に析出する 	正 白金(Pt)板 $^{64}\text{Cu}^{2+}$ は電子をもらい、 ^{64}Cu になりPt表面に析出する
100	12行目	$\text{La}^{3+} + 3\text{NH}_4\text{OH}$	$\text{Y}^{3+} + 3\text{NH}_4\text{OH}$
100	13行目	そこで、 $^{90}\text{Sr}^{2+}$ と $^{90}\text{Y}^{3+}$ の	そこで、無担体状態の $^{90}\text{Sr}^{2+}$ と $^{90}\text{Y}^{3+}$ の
100	17行目	時間経過とともに再び ^{90}Y が混在してくる。	時間経過とともに永続平衡になり再び ^{90}Y が生成してくる。
101	中段の図中文字	>炭素>ヨウ素間結合エネルギー	>炭素ヨウ素間の結合エネルギー